

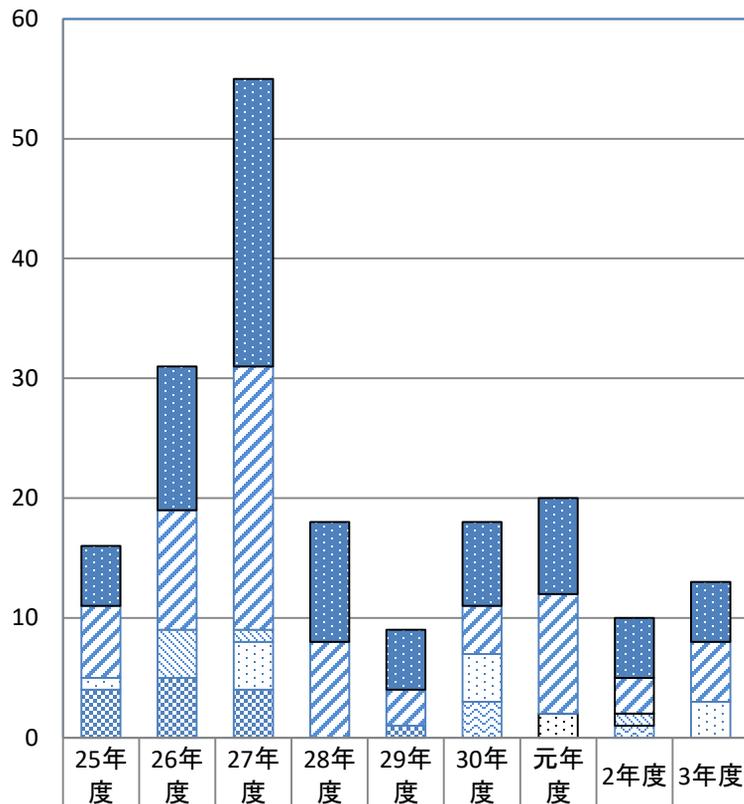
# 東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況

平成25年11月1日から令和4年3月31日報告受理分 190件

## 1 要請理由

○ 常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。

n=190 (母体)



	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
総計	16	31	55	18	9	18	20	10	13
■ 常位胎盤早期剥離	5	12	24	10	5	7	8	5	5
▨ 早産期の胎児機能不全	6	10	22	8	3	4	10	3	5
▨ 常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		4	1					1	
▨ 正産期の胎児機能不全	1		4			4	2		3
▨ その他						3		1	
▨ 無記入	4	5	4		1				

## 2 要請理由別搬送元施設と受入先施設

- 全体では総合周産期母子医療センターが149件（78.4%）、地域周産期母子医療センターが33件（17.4%）、周産期連携病院が8件（4.2%）だった。
- 搬送依頼元は診療所が94件（49.5%）、病院が63件（33.2%）だった。
- ブロック内の総合周産期母子医療センターでの受け入れは、全体で121件（63.7%）だった。

n=190（母体）

要請理由	依頼元施設		総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	周産期連携病院	病院	診療所	助産所
	受入先施設	総計						
常位胎盤早期剥離	総計	81	2		3	23	53	
	総合周産期母子医療センター	59	1		3	19	36	
	地域周産期母子医療センター	19	1			4	14	
	周産期連携病院	3					3	
早産期の胎児機能不全	総計	71	8	9	7	26	21	
	総合周産期母子医療センター	59	7	8	7	20	17	
	地域周産期母子医療センター	10	1	1		5	3	
	周産期連携病院	2				1	1	
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計	6				3	3	
	総合周産期母子医療センター	5				2	3	
	地域周産期母子医療センター	1				1		
	周産期連携病院	0						
正期産の胎児機能不全	総計	14				1	10	3
	総合周産期母子医療センター	11				1	7	3
	地域周産期母子医療センター	2					2	
	周産期連携病院	1					1	
その他(4)・無記入	総計	18			1	10	7	
	総合周産期母子医療センター	15				9	6	
	地域周産期母子医療センター	1			1			
	周産期連携病院	2				1	1	
合計	総計	190	10	9	11	63	94	3
	総合周産期母子医療センター	149	8	8	10	51	69	3
	地域周産期母子医療センター	33	2	1	1	10	19	0
	周産期連携病院	8	0	0	0	2	6	0

### ○ 要請理由別 受入先施設

要請理由	受入施設		総合周産期母子医療センター		地域周産期母子医療センター		周産期連携病院		合計	
	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外
常位胎盤早期剥離	50	9	16	3	3		69	12		
早産期の胎児機能不全	43	16	7	3	1	1	51	20		
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1	1				5	1		
正期産の胎児機能不全	9	2	1	1	1		11	3		
その他(4)・無記入	15			1	2		17	1		
合計	121	28	25	8	7	1	153	37		

3 要請理由別搬送元地域（ブロック）と受入先地域（ブロック）

- 全体では80.5%がブロック内の医療機関で受け入れられていた。  
 早産期の胎児機能不全では、28.2%がブロック外での受入だった。

n=190（母体）

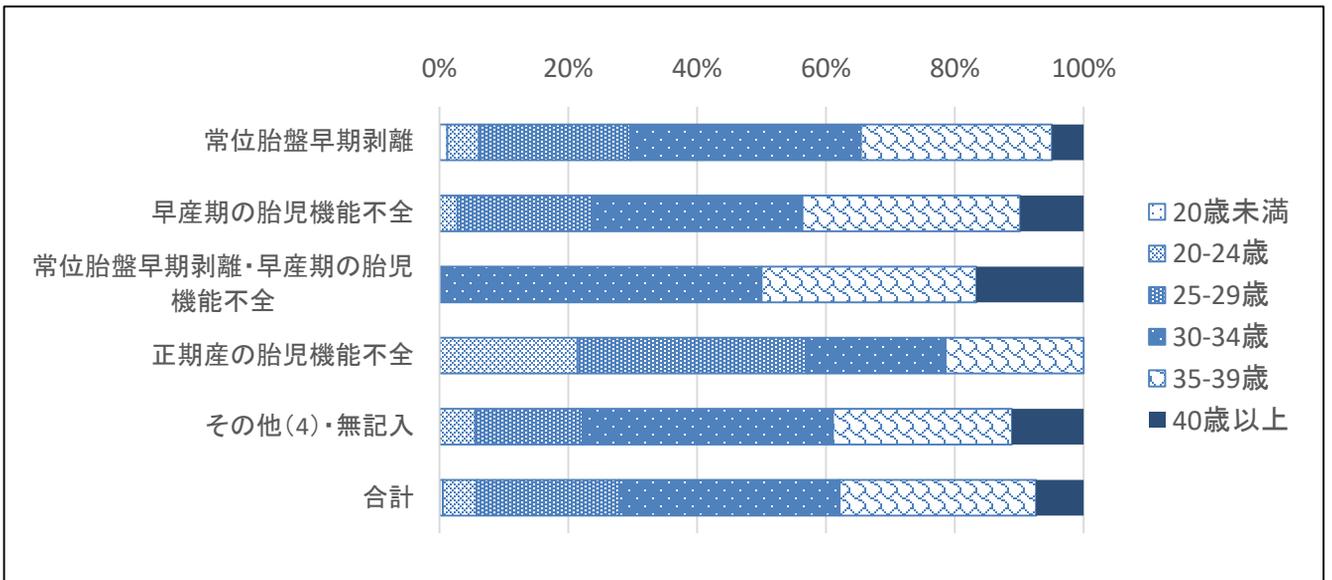
要請理由	依頼元地域		総計	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	多摩地域
	受入先地域										
常位胎盤早期剥離	総計		81	3	2	22	3	6	19	19	7
	区中央部		8	3	1			1	2	1	
	区南部		0								
	区西南部		23		1	21				1	
	区西部		4			1	3				
	区西北部		5					5			
	区東北部		14						14		
	区東部		19						3	16	
	多摩地域		8							1	7
早産期の胎児機能不全	総計		71	3	3	13	5	5	7	12	23
	区中央部		5	3		1	1				
	区南部		4		1	2					1
	区西南部		18		2	10	2	1			3
	区西部		2				1				1
	区西北部		4					3	1		
	区東北部		4					1	3		
	区東部		15						3	12	
	多摩地域		19				1				18
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計		6			1	1	1	1	2	
	区中央部		0								
	区南部		0								
	区西南部		1			1					
	区西部		1				1				
	区西北部		0								
	区東北部		2					1	1		
	区東部		2							2	
	多摩地域		0								
その他	総計		32	3	1	4	1	5	2	4	12
	区中央部		1	1							
	区南部		1		1						
	区西南部		5	1		4					
	区西部		2				1				1
	区西北部		6	1				5			
	区東北部		3						2	1	
	区東部		3							3	
	多摩地域		11								11
合計	総計		190	9	6	40	10	17	29	37	42
	区中央部		14	7	1	1	1	1	2	1	0
	区南部		5		2	2					1
	区西南部		47	1	3	36	2	1		1	3
	区西部		9			1	6				2
	区西北部		15	1				13	1		0
	区東北部		23					2	20	1	0
	区東部		39						6	33	0
	多摩地域		37				1				36

#### 4 母の年齢

- 全体では35歳未満が118人（62.1%）と多く、35歳以上は72人（37.9%）  
 常位胎盤早期剥離は35歳未満が53人（74.6%）、35歳以上は28人（34.6%）  
 早産期の胎児機能不全では35歳未満が40人（56.3%）、35歳以上は31人（43.7%）だった。

n=190（母体）

要請理由	母体年齢	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上	合計
常位胎盤早期剥離		1	4	19	29	24	4	81
早産期の胎児機能不全			2	15	23	24	7	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全					3	2	1	6
正常産の胎児機能不全			3	5	3	3		14
その他（4）・無記入			1	3	7	5	2	18
合計		1	10	42	65	58	14	190



- 要請理由別 母の年齢の最小値・最大値・平均値・中央値

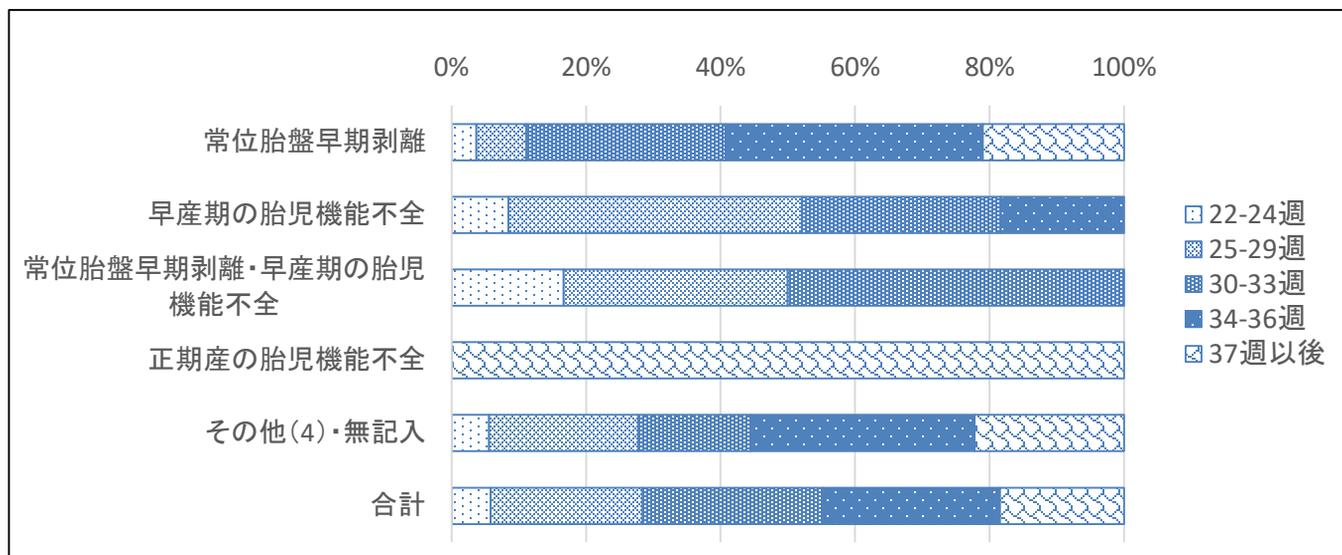
要請理由	母体年齢	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離		19	43	32.11
早産期の胎児機能不全		20	43	33.27
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		31	40	35.00
その他・無記入		22	42	31.63
合計		19	43	32.55

## 5 妊娠週数

- 全体では30-33週が51人（28.8%）と最も多く、37週未満が155人（81.6%）  
 常位胎盤早期剥離は34-36週が31人（38.3%）、37週未満は64人（79.0%）  
 早産期の胎児機能不全では25-29週が31人（43.7%）、34週未満が58人（81.7%）だった。

n=190（母体）

要請理由	妊娠週数	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
常位胎盤早期剥離		3	6	24	31	17	81
早産期の胎児機能不全		6	31	21	13		71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	3			6
正期産の胎児機能不全						14	14
その他（4）・無記入		1	4	3	6	4	18
合計		11	43	51	50	35	190



- 要請理由別 妊娠週数の最小値・最大値・平均値・中央値

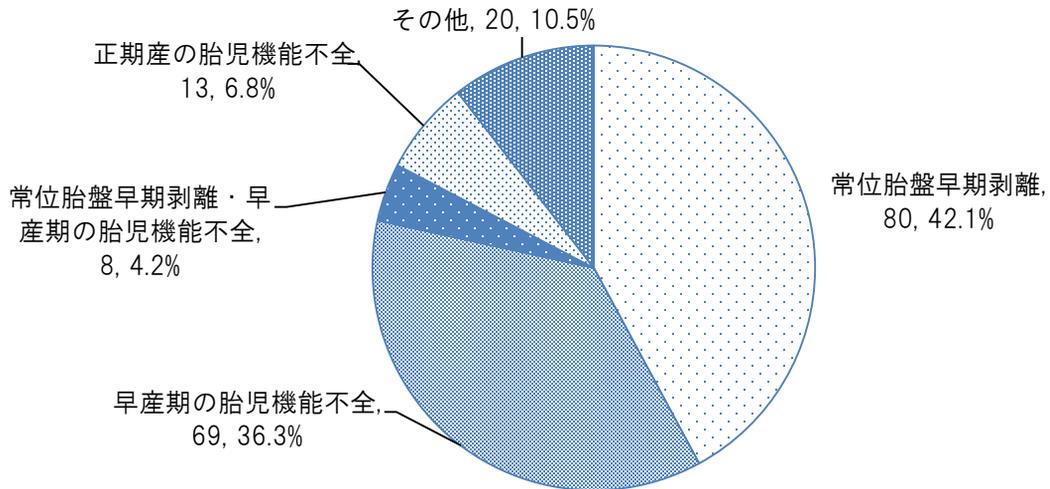
要請理由	妊娠週数	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離		22	40	33.60
早産期の胎児機能不全		22	36	29.48
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		24	32	29.00
その他・無記入		23	42	35.44
合計		22	42	32.23

## 6 病着後の診断名

- 搬送受入れ後の診断名は常位胎盤早期剥離が76件（42.9%）、早産期の胎児機能不全が66件（37.3%）であった。
- その他は18件（10.2%）で、子宮内胎児死亡、一過性胎児除脈、胎動減少、足位の陣発（早産期）・排臨、切迫早産、前期破水・臍帯下垂（骨盤位）などであった。

n=177（母体）

病着後の診断名



### ○ 要請理由別 病着後の診断名

要請理由	病着後の診断名	常位胎盤早期剥離	早産期の胎児機能不全	常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	正期産の胎児機能不全	その他	データ数
常位胎盤早期剥離		72	3	2		4	81
早産期の胎児機能不全		1	62	1		7	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1		4		1	6
正期産の胎児機能不全				1	12	1	14
その他(4)・無記入		6	4		1	7	18
合計		80	69	8	13	20	190

## 7 病着まで（要請から病着まで）

- 搬送要請時刻と病着時刻が分かっているのは159件であった。
- 159件の病着までの時間の平均は約55分であった。
- 159件の病着までの時間の最小値は8分、最大値は3時間48分であった。

### ○ 要請理由別 要請から病着までの時間

要請理由	要請から病着までの時間						データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	
常位胎盤早期剥離	13	38	15	5	1	9	81
早産期の胎児機能不全	4	27	16	4	3	17	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	4	1	0	0	0	6
正期産の胎児機能不全	1	9	2	0	0	2	14
その他(4)・無記入	1	6	5	2	1	3	18
合計	20	84	39	11	5	31	190

○ 要請理由別 要請から病着までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	病着までの時間	最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離		17分	3時間48分	52分	72
早産期の胎児機能不全		13分	3時間30分	59分	54
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		22分	1時間	40分	6
その他・無記入		8分	2時間5分	58分	27
総数		8分	3時間48分	55分	159

8-1 分娩まで（要請から分娩まで）

- 搬送要請時刻と分娩時刻が分かっている160件中、搬送要請から24時間以内に分娩となったのは145件であった。
- 145件の分娩までの時間の最小値は33分、最大値は19時間39分であった。

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間

要請理由	要請から分娩までの時間						(再) 24時間以上	不明等	妊娠継続	データ数
	1時間未満	1時間～1時間 30分未満	1時間30分～ 2時間未満	2時間～6時間 未満	6時間以上					
常位胎盤早期剥離	10	27	8	22	6	3	5	3	81	
早産期の胎児機能不全	2	3	3	27	15	10	13	8	71	
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	0	2	3	0	0	0	0	1	6	
正期産の胎児機能不全	3	5	0	5	1	0	0	0	14	
その他(4)・無記入	1	1	4	8	4	2	2	0	20	
合計	16	38	18	62	26	15	20	12	192	

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離		41分	242時間26分	6時間54分	73
早産期の胎児機能不全		55分	313時間44分	33時間32分	50
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1時間26分	1時間57分	1時間37分	5
その他・無記入		33分	117時間57分	7時間13分	32
総数		33分	313時間44分	15時間8分	160

## 8-2 分娩まで（病着から分娩まで）

病着からの診断名	病着から分娩までの時間						不明	妊娠継続	データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上				
常位胎盤早期剥離	30	18	9	0	15	6	2	72	
胎児機能不全	8	11	8	5	34	9	7	66	
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全	2	3	0	1	1	1	0	7	
その他・無記入	1	1	1	1	8	6	4	12	
合計	41	33	18	7	58	22	13	157	

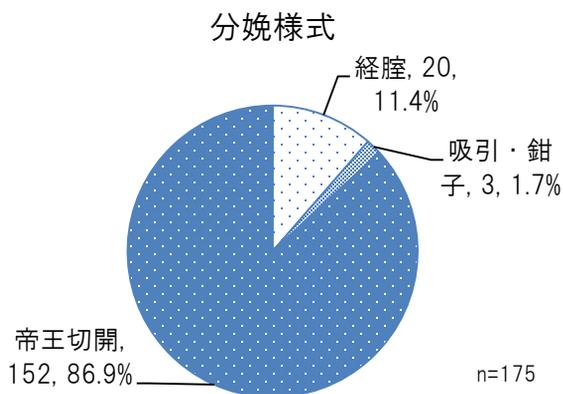
○ 病着後の診断名別 病着から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

病着後の診断名	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離		9分	242時間6分	6時間7分	72
胎児機能不全		4分	312時間19分	24時間2分	66
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全		10分	3時間25分	1時間7分	7
その他・無記入		23分	128時間4分	21時間35分	12
総数		4分	312時間19分	14時間37分	157

## 9 分娩様式

- 分娩様式は86.9%が帝王切開であった。
- 経膣分娩のうち、死産が5件（内1件は子宮内胎児死亡）であった。

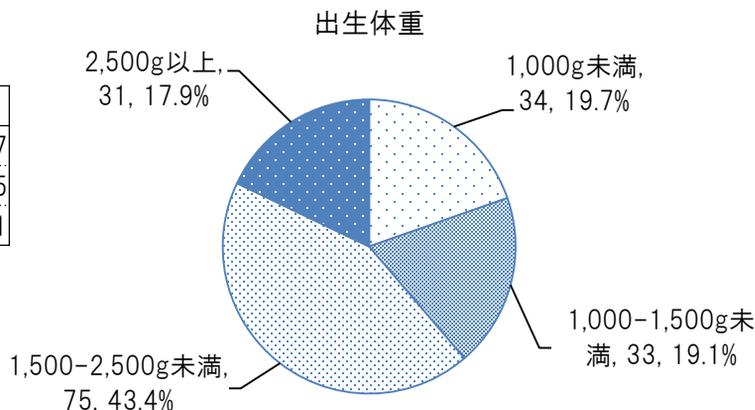
分娩様式	件数
経膣	20
吸引・鉗子	3
帝王切開	152
-妊娠継続	12
-母転院	1
-不明	2



## 10 出生体重

- 出生体重は267gから3,785gに分布していた。
- 出生体重の平均は1,804.31gであった。

出生体重	
最小	267
最大	3,785
平均	1,804.31



## 11 アプガースコア

- アプガースコアの判明している171人のうち、1分後4点未満は59人（34.5%）、4～6点は34人（19.9%）であった。
- 5分後のアプガースコアが判明している169人のうち、0～3点は23人（13.6%）であった。

	AP1分後	AP5分後
0～3点	59	23
4～6点	34	29
7点以上	78	117
死産	1	2
挿管	1	1
母転院	1	1
妊娠継続	12	12
不明	6	7

全体		AP5分後										死産	挿管	母転院	妊娠継続	不明	合計	
AP1分後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
0	10	1	1	1														14
1		2	4	3	3	6	2	1	2									23
2			1			2	5	2	2	1								13
3						1	4	2		2								9
4							1	1	5	1	5							13
5							1	2	3	2	4						1	13
6								1	3	2	2							8
7									1	6	6							13
8									1	5	44							51
9											8							14
10												6						6
死産												1						1
挿管													1					1
母転院														1				1
妊娠継続																12		12
不明																	6	6
合計	10	3	6	4	3	11	15	18	20	72	7	2	1	1	12	7		192

### ○ 要請理由別 アプガースコア

要請理由	AP1分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		25	10	40	3	3	81
早産期の胎児機能不全		23	16	19	5	8	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		3	1		1	1	6
その他・無記入		8	7	19			34
総数		59	34	78	9	12	192

要請理由	AP5分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		8	8	59	3	3	81
早産期の胎児機能不全		10	14	32	7	8	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	1	1	1	6
その他・無記入		4	5	25			34
総数		23	29	117	11	12	192

## 12 臍帯動脈血pH

- 臍帯動脈血 pHが不明の児及びIUFDの児を除いた出生児153人の臍帯動脈血 pHは、6.571から7.520に分布していた。
- 平均は7.213であった。

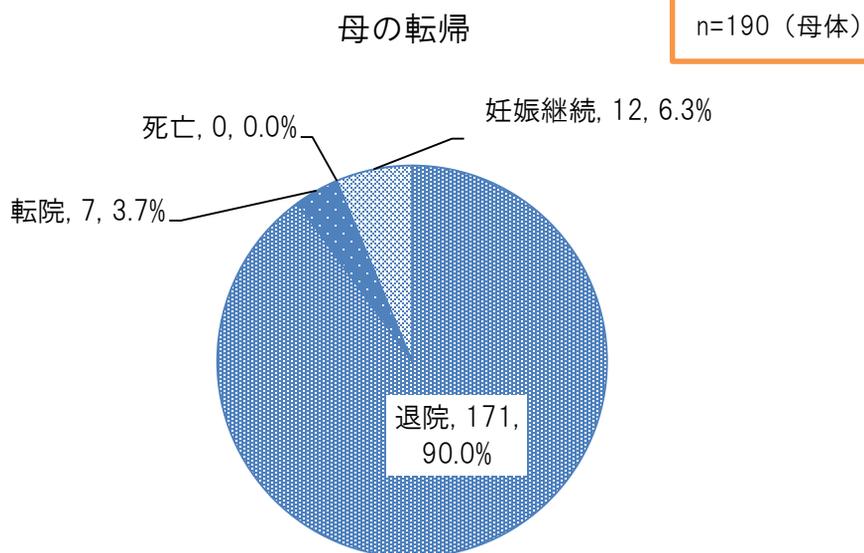
臍帯動脈血PH	
最小	6.571
最大	7.520
平均	7.213
7.00未満	21
7.00～7.15未満	17
7.15～7.39未満	103
7.39以上	12
死産	7
妊娠継続	12
母転院	1
不明	19

- 要請理由別 臍帯血 pH

要請理由 \ 臍帯血pH	7.00未満	7.00～7.15未満	7.15～7.39未満	7.39以上	不明等	死産	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離	16	7	44	5	5	1	3	81
早産期の胎児機能不全	2	5	38	3	10	5	8	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	2	2				1	6
その他・無記入	2	3	19	4	5	1		34
総数	21	17	103	12	20	7	12	192

### 13 母の転帰

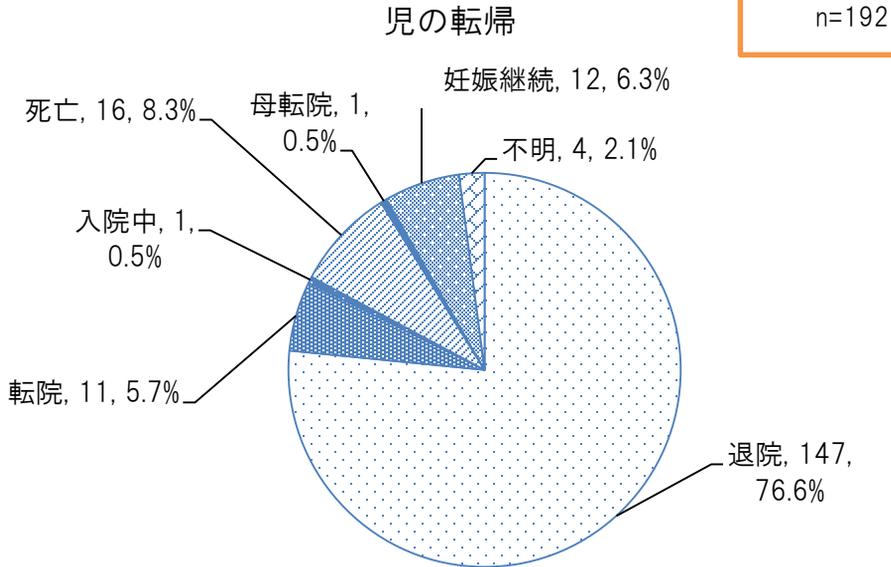
○ 母の転帰は90.0%が退院であり、死亡したものはいなかった。



要請理由	母の転帰	退院	転院	死亡	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		75	3		3	81
早産期の胎児機能不全		59	4		8	71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		5			1	6
正期産の胎児機能不全		14				14
その他(4)・無記入		18				18
合計		171	7	0	12	190

14 児の転帰

- 児の転帰は退院が147人（76.6%）、転院が11人（5.7%）であった。
- 死亡した16人は、死産が9人、その他7人であった。



要請理由	児の転帰								合計
	退院	転院	入院中	死亡	母転院	妊娠継続	不明		
常位胎盤早期剥離	70	2		4		3	2		81
早産期の胎児機能不全	43	5	1	11	1	8	2		71
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1				1			6
正期産の胎児機能不全	12	2							14
その他(4)・無記入	18	1		1					20
合計	147	11	1	16	1	12	4		192